

今だけ、金だけ、自分だけを脱せよ

鈴木宣弘東大教授、来賓講演

米国の人道支援とはケタ違い

血の通った人間には理解しがたい

子供たちを守ろう

生産者と消費者が支え合う

第13回日本の農と食を考えるシンポジウムで鈴木宣弘東大農学部教授は「占領政策」と「コメ危機」と「学校給食」農家を苦しめる政策が続けば、日本は必ず飢餓に陥るというテーマで来賓講演を行った。



鈴木宣弘教授

鈴木教授は、需要減でコロナ禍で増幅され、コメ在庫が膨れ上がり、1万円で下回る低米価が現実になってしまった。どんなに頑張ってもコメの生産コストは1万円以上かかる。このままでは、中小の家族経営どころか、専門的な大規模稲作も潰れる。コメは余っているのだから、実質は足りていない。潜在需要はあるのに買えないというコロナ困窮で20万トン以上の在庫が積み増された。コメや食料を一日1食しか食べられない人が増えているから。今必要なのは食べられなくなった人達に政府が農家からコメを買って届ける人道支援だ。苦しむ国民を救うには在庫が減り、価格も戻り、苦しむ農家も救われるが放置されている。政府は120万トン以上の備蓄は絶対に買わない。15万トン

の人道支援を表明したと思ったら、2年間の保管料だけ払うというもので、全く人道支援ではありませんでした。今助ける方を助けないで2年後に古

製品・野菜などの買い上げに充てた。補助額は原則1農家当たり最大25万ドルとした。農務省は毎月、生鮮食品、乳製品、肉製品をそれぞれ約1億ドルずつ購入し、これらの調達、包装、配給では食品流通大手シスコなどと提携し、買い上げた大量の農畜産物をフードバンクや教会、支援団体に提供した。さらに2020年9

月に生産者を対象に損失を直接補償の追加支援プログラムを発表した」と語った。また、日本が標的になっていることとして、グローバル企業が行ってき

ぐに安値に飛びついて、値を叩こうとする。そうしている、作ってこれる生産者がいなくなってしまう。6倍にしてもその商品を買って、消費者が買えることで、生産者の生活がささえられる。その代わり本物を作っていくことが重要。そういう商品がスーパーでも半分を超える状況を作り出した。そうなるまで値に叩くようなことでは、生産、流通、小売り、消費関連産業は、運命共同体である、今だけ、金だけ、自分だけを脱しても、農家のみなさんを支えていくために、頑張らねば」と結んだ。

皆様に安心安全な食を提供

豊受 スタッフフリレー発表

シンポジウムでは日本豊受自然農のスタッフフリレー発表があった。北海道・洞爺農場、農業部・加工部 豊受自然農 洞爺農場の米丸さん。

シリシウムでは日本豊受自然農のスタッフフリレー発表があった。北海道・洞爺農場、農業部・加工部 豊受自然農 洞爺農場の米丸さん。

シリシウムでは日本豊受自然農のスタッフフリレー発表があった。北海道・洞爺農場、農業部・加工部 豊受自然農 洞爺農場の米丸さん。

シリシウムでは日本豊受自然農のスタッフフリレー発表があった。北海道・洞爺農場、農業部・加工部 豊受自然農 洞爺農場の米丸さん。

シリシウムでは日本豊受自然農のスタッフフリレー発表があった。北海道・洞爺農場、農業部・加工部 豊受自然農 洞爺農場の米丸さん。



函南農場 米丸輝久、デイリー・マツ、澤田美史各氏



函南農場 白井天斗氏



函南農場 川原拓朗氏



函南農場 数原賢明氏



函南農場 廣瀬智美さん(記事は4面に)

とら先生からの霊的見解や毎巨飲んでも飲み飽きないのがポイントという話を聞いた。最後に「洞爺一同はお客様の喜ぶ顔を思い浮かべたい。いつも丁寧な作りに関わっています。これからも皆さんの健康を願って安心安全な製品を作っていきます」と話していた。

大豆・麦・脱穀類の報告 静岡函南農場 麦・大豆班 豊受自然農 農業部の白井さん。

白井さんは麦、大豆の担当で、今年大豆は例年比で多く、一反あたり120kg〜130kgほど収穫できたこと。良くできた理由として、御古園を沢山散布した事、梅雨などの影響を考慮、例年に比べ播種の時期を遅らせた事、土壌の排水性の改善を行った事を挙げた。豊受自然農はとら先生のポリシーに基づき、健康に良い原種に近い在来種の種の選択にこだわっている。大豆以外では小麦で農林61号を栽培しており、来年春以降農家が自家採種できる一般品種での重要性和、稲が大きくなるので除草機が使用できなくなるので手作業で行って春以降農家が許可なしに自家採種できなくなった為一般品種を探し、ようやく手に入り秋まきと間に合ったそうだ。種にも農業、化学肥料を使わない豊受自然農法にもこだわりの、日本の安心安全な穀類の自給率拡大に貢献する為、大規模生産に向ける取組んでいる。

豊受米の栽培と特長・活用 静岡函南農場 米班 日本豊受自然農農業部の川原さん。

豊受米の栽培と特長、活用について稲刈りが終わった田んぼから発表。田植えの際には、土地の神様に田植えの許可と守護をお願いする為、神社でお参りし、田植祭として田んぼ1枚を手植えで行ったとの事。また、除草の重要性や、稲が大きくなるので除草機が使用できなくなるので手作業で行って春以降農家が許可なしに自家採種できなくなった為一般品種を探し、ようやく手に入り秋まきと間に合ったそうだ。種にも農業、化学肥料を使わない豊受自然農法にもこだわりの、日本の安心安全な穀類の自給率拡大に貢献する為、大規模生産に向ける取組んでいる。

静岡函南農場 種苗・野菜班 豊受自然農農業部の種苗を担当している数原さん。

日本豊受自然農では、農業をスタートした時点から、創設者であるとら先生の方針で、不自然な遺伝子組み換えや、今問題となっているゲノム編集種苗、F1の種は使わず、自然な種、在来種や固定種自家採種で、手間がかかっても農業や化学肥料を使わない自然栽培を行っています。初めて種取りの担当をしたのはピーマンで、美味しいピーマンを残す為に同僚と